

# 質問

0 / その1

## 将来に希望の持てる 「まちづくり」を



松本 利秋 議員

「まちづくり町民会議」  
意見の反映は

松本 町長の施政方針を伺い、今年度は、新規事業に取り組みられるなど、財政再建への熱意はよくわかりました。

町長の肝入りで組織された「日野町まちづくり町民会議」の意見をどのように反映し、活かされるのか。

町長 まちづくり町民会議は、私が町長に就任して以来、広く町民の皆さんが行政にどのような意見を持っておられるのか、また、行政に頼らず地域で自立性を高めていく方策を模索して頂くための情報場として、設置しました。すでに七回の会議を開催され、中間報告を頂きました。

意見や要望は、広報でお知らせする一方、できるものから取り入れ、職員が一丸となつて、行政に反映するよう取り組みます。

また、委員の方が先頭に立って、これからの町をつくり上げて頂きたいと思う。

町の将来構想を描いて  
まちづくりを

松本 まちづくり町民会議の中で意見があるように、希望が持てる「まちづくり」をす

るためには、将来構想を描き、行政・議会・町民が一丸となつて、今、

取り組みなければならぬと思う。

町長 まずは、一年でも早く、単年度収支を黒字にし、町民の皆様から財政不安を払拭したい。

行政主導の構想ではなく、町民の皆様と一緒になつて、子どもからお年寄りまで「安全で安心して暮らせるまちづくり」に取り組みたい。

今こそ、住民が一体となつて、その目標に向かって頑張らなければならぬ。今年度は、新たな展開をしたいと、強く思っている。

全共を契機として  
和牛の振興は

松本 昨年十月に開催された全国和牛能力共進会を契機として、今後の取り組みが重要と考える。

和牛（農業）振興対策をど



町の将来について話し合う「まちづくり町民会議」

のように考えるか。

町長 今後の和牛振興対策として、新たに飼育農家を確保していくために、新規に和牛飼育を始められる方への簡易牛舎整備、繁殖雌牛導入に助成することにしました。

松本 まずは、本町で生産される子牛が高価格で取り引きされている実態を、広報で広く紹介してはどうか。

町長 さっそく広報で、私の気持ちを盛り込んだものを掲載していきたい。

### 議会のうごき

1月	給食試食会
24日	西部広域行政管理組合議会臨時会
25日	県議長会役員会
28日	議会広報調査特別委員会
29日	教育民生常任委員会 給食試食会
2月	
1日	議会広報調査特別委員会
5日	議会広報調査特別委員会
7日	全国過疎理事會
8日	例月出納検査
14日	議会広報調査特別委員会 教育民生常任委員会 議会広報調査特別委員会
15日	県議長会定期総会
18日	総務経済常任委員会
19日	県後期高齢者医療広域連合議会定例会
20日	日野町・江府町・日南町衛生施設組合議会定例会 西部議長会定期総会